

関西支社は現場の状況を把握できず！！

2月15日、J R 東海 労新 幹線 関西 地本は「2021年3月ダイヤ改正による要員等について（乗務員関係）」について関西支社と業務委員会を開催しました。

その後、支社はお知らせとして「大阪仕業検査車両所における体制拡充について 昼間の入庫本数の波動に対して、柔軟に対応出来る体制を整える為、昼間の仕業申告出面を最大7名にする。夜間は従来通り。」と説明してきました。

しかし、組合側からすでに7名の出面要員がいることを指摘すると、支社は困惑し「え?! 6名じゃないんですか?・・・再度、調査します」と言い、この場は終了しました。

要員提示の間違いを認めるも、再度業務委員会開催せず！！

3月2日、15時から「のぞみ8号及び96号に於ける車両点検」について関西支社と業務委員会を開催予定でした。それにも関わらず、支社は同日14時30分から幹事間折衝で前回の「昼間の仕業申告出面」の説明をすと言ってきました。

しかし、その時、支社は「前回の説明が間違いです」と謝罪したにも関わらず、15時から始まる業務委員会での説明を拒んだのです。

なぜ、業務委員会の場で説明しないのでしょうか?!

支社のメンツ? 指摘できなかった他労組への配慮だったのでしょうか?

出面要員増は現場の裁量!! シロ日勤まで活用!!

ありがたいことに支社の要員提示より多い要員を現場は確保!!

3月2日の幹事間折衝で「昼間の仕業申告の出面要員増」は現場の裁量であることが明らかになりました。この要員増は昨年7月から始まり、2021年1月からは昼間の仕業申告の出面要員（日1～日4）だけではなく、支社が言う「シロ日勤」まで充当していました。この充当は今までなかったことです。本当にありがたいことです。

今後も支社が説明している「昼間の仕業申告出面を最大7名にする」にこだわらず

現場裁量で8名にも9名にもすることを期待しています。

それが出来ないなら、また支社の説明がウソになります!